

## 出願によらない知財の保護・活用 (知財パラダイムシフト)

知財(IP)コードを製品に付与することで  
事前に、積極的に、不正競争防止を図ります。

出願・維持コストといった見えるコストの削減とともに、  
係争リスク低減に繋がる(自制を働き掛ける)ことで  
見えないコストの削減も図ることができます。



公益社団法人  
知財経営協会(SIR)  
The Society of Intellectual Revolution

(旧名：(公)知財登録協会 The Society of Invention Registration)  
HP:<http://www.ipbrand.org> (HPからすべてが行えます)



SIR 知財登録認証番号  
(知財(IP)コード)  
知財の種類→G3920000101000095  
日本国コード メーカーコード 情報番号

入会情報(会員種別・会費等)と入会手続きはこちらから

<http://www.ipbrand.org/information/application.html>  
又は、協会HPの『入会等のご案内』から容易に行えます。

〒533-0021 大阪市東淀川区下新庄5-7-8 (株)ファインビル内  
Tel:050-5883-3564 Mail:[staff@ipbrand.org](mailto:staff@ipbrand.org)



資料番号 22080013

### 登録知財(非出願知財)情報紹介



公益社団法人  
知財経営協会(SIR)



SIR 知財登録認証番号  
(知財(IP)コード)  
S3920000258301034

権利所有者	株式会社なご屋 代表取締役社長 長尾 憲
問合せ先	株式会社なご屋 岡山県新見市高尾2457-14 TEL:0867-72-0804 E-mail:kknagao@mx91.tiki.ne.jp

## 地震国日本の屋根を変えるイノベーション ～地震に弱い瓦屋根に代わる長寿命、軽量、 消音、低コスト屋根の発明と普及～

### ■ 技術内容

日本は、地震や台風の多い国であり、特に近い将来南海トラフに起因する大地震も予測されているところ、伝統的な瓦屋根は重く倒壊によるリスクやそれによる重大な被災が懸念されている。本発明の屋根は、この課題に鑑みてなされたもので、既に複数の施工実績があり、導入された顧客は大いに満足している。

### ■ 用途

本発明は、その屋根構造に特徴(知財)があり、長期にわたる研究の末に瓦屋根や鍍金屋根やカラーベスト屋根等に代わる新世代のエコ屋根として完成したものである。

### ■ 効果

従来の鍍金屋根は、軽量であったが雨音等の騒音や耐久性に問題があった。伝統的な瓦屋根に比べて、桁違いに軽量であって且つ雨音等の消音機能を持ち、長寿命と3割程度のコスト削減を実現した画期的なもので、実用新案登録並びに知財登録を完了している。また、新築並びに補修等に容易に適用することができ、工期も短い特徴がある。

### ■ PR

今後、全国の建築業者やソーラーパネル業者等に対して施工を含む知財ライセンス供与を

### 建築

### 生活

行い普及に努める予定です。  
お気軽にお問い合わせください。



資料番号 22080014

### 登録知財(非出願知財)情報紹介



公益社団法人  
知財経営協会(SIR)



SIR 知財登録認証番号  
(知財(IP)コード)  
S3920000001801015

権利所有者	IPI (知財イノベーション) & SIR 代表 玉井 誠一郎 (SIR会長・理事長)
問合せ先	IPI & SIR TEL:090-9875-1393(050-5883-3564) E-mail:sirtamai@gmail.com(sir@ipbrand.org)

## 人類の健康・美容に貢献するマイナス水素『ヒドリド(H<sup>-</sup>)』応用商品の普及、認定、研究支援並びに関連知財マネジメントを行う協会『ヒドリド協会(SHR:The Society of Hydride Revolution)』の設立運営

### ■ 技術内容

水素は、生体内の活性酸素(ヒドロキシルラジカル)を還元し水に変えて消去することや細胞内のミトコンドリアのエネルギー産生(ATP)や長寿遺伝子(SIRT2)に働きかけ、生命機能・健康維持・長寿に効果があるとされる。しかし、国民生活センターによる指導があった水素水のように、これらに作用する水素は、分子状水素H<sub>2</sub>ではなく、電子が2つあるイオン状に電離された『ヒドリド(H<sup>-</sup>)』が重要な役割をしていることが解明されてきた。すなわち、ヒドリドは血液やリンパ液に溶け込み、細胞の隅々まで届き、電子を放出して活性酸素を還元する。しかし、あまたの水素商品に紛れて真正品の識別が困難なことや関連企業も限定的で広く認知され

るには至っていない課題がある。

### ■ 用途

がん、糖尿病、アツルハイマー病、高血圧、リウマチ、アレルギー等の生活習慣病を含む疾病及び美容等に係る健康美容分野(人およびペット向け)並びに環境エネルギー分野等。

### ■ 効果

最も小さく隔々まで行き渡りかつ無害安全なヒドリドによる健康美容効果は実証されつつある。また近時、文科省は燃料電池等への応用研究としてこの研究を高度研究領域として認定している。

### 健康

### 美容

### ■ PR

このヒドリドイオンの発展性に鑑み、健康・美容商品の開発普及、認定、エネルギー等の実用研究及び関連知財マネジメント支援を先導する『ヒドリド協会(SHR:The Society of Hydride Revolution)』を設立し健康社会の実現と公益に資する活動を行う。関心のある方はお気軽にメールでお問い合わせください。



ヒドリド協会(SHR)  
The Society of Hydride Revolution